

平成26年度 大学の世界展開力強化事業 審査結果表

大 学 名	東北大学	主たる交流先の 相手国	ロシア
構 想 名	日露間における新価値創造人材の育成		

〔評価コメント〕

本構想は、貴学の「人が集い、学び、創造する、世界に開かれた知の共同体」を目指す「里見ビジョン」に則り、「グローバル30」事業によって展開してきた交流活動、モスクワとノボシビルスクに設置している海外拠点や日本の幹事校として構築してきた日露学長会議を通じたロシアの大学とのネットワークを活かして、科学イノベーションを創出する高度な人材、並びに新たな価値を創造できる人材の育成を目的としており、従来の交流実績を基盤に構築されたプログラムである。

また、留学目的の多様化という現状をよく踏まえ、学部生を対象とする異文化体験型の短期学生交流プログラムや単位取得を伴うプレ留学型の学生交流プログラム、更に共同研究を基盤とした大学院生の共同教育型の学生交流プログラムという段階別のプログラムを設計している点は特徴的であり、ウラジオストクにおける新たな海外拠点の設置や連携先にロシア科学アカデミーを含めることで教育研究交流の拡充を図ろうとしている点でも今後の発展性が大いに期待できる。

一方で、比較的規模の大きな学生交流を派遣・受入双方において計画しているため、その実現に向けて、ロシアから日本への留学に対するニーズ動向のみならず、日本人学生に対しては本プログラムに参加する意義を明示し、日本からロシアへの留学に対するニーズ動向を把握する必要がある。また、検討を行うとしているダブル・ディグリー及びジョイント・ディグリーの授与については、更なる精緻化が求められる。

最後に、今回「大学の世界展開力強化事業」に採択された貴学におかれては、将来の日露関係を見据え、ロシアとの間の架け橋となるリーダー人材の育成に中心となって取り組む拠点大学であるということの意義とその責任、期待の重さを認識し、構想内容の実現に向け真摯に取り組まれることを強く要請する。